

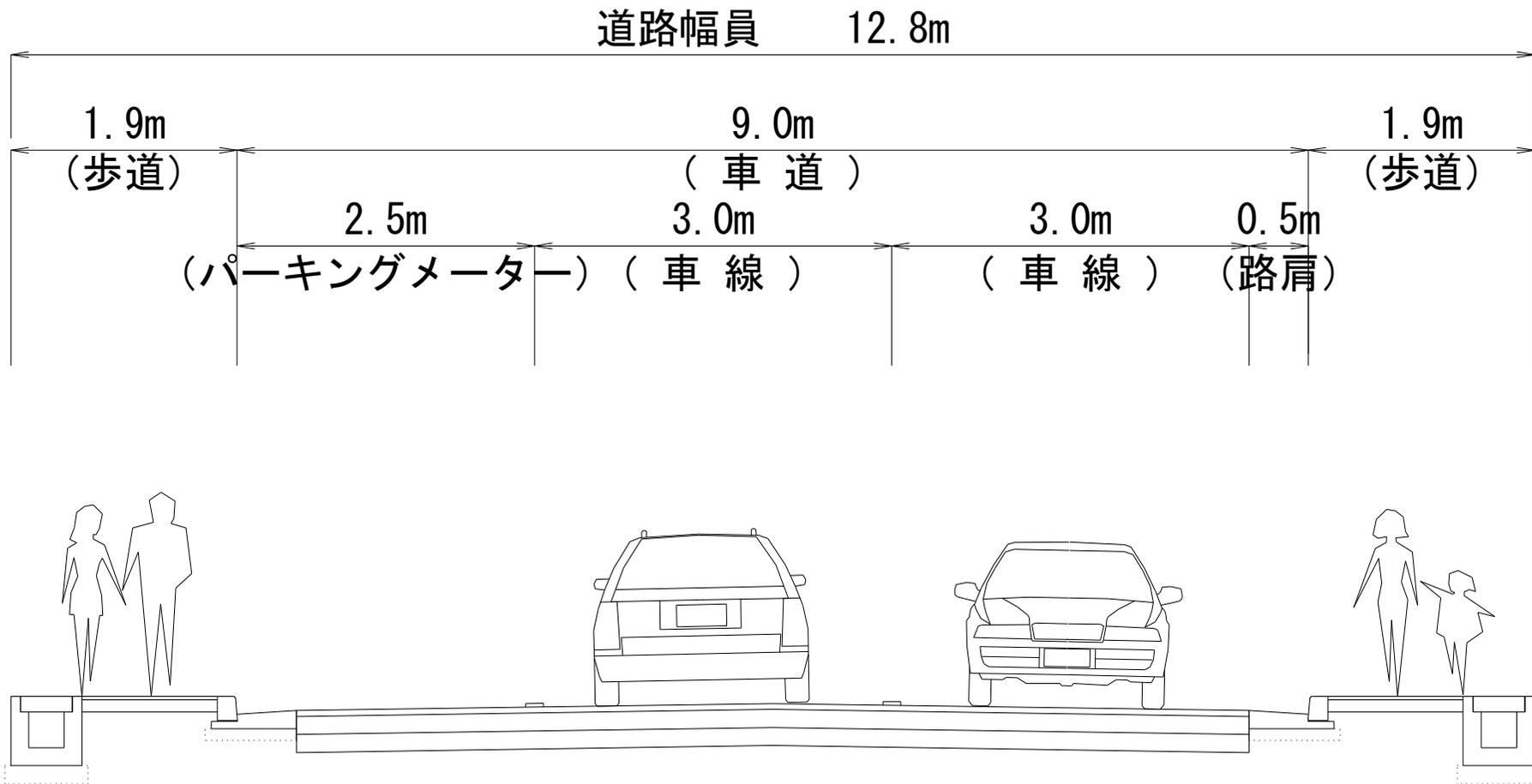
病院通り道づくり計画 住民説明会

～市道 久茂地9号道路改良計画について～

令和4年7月23日(土)

那覇市 都市みらい部 道路建設課

現道について



- ・歩道が狭い ・傘をさすとすれ違えない
- ・点字ブロックを設置してほしい ・植栽など緑陰が少ない
- ・車の乗入口などが波をうって歩きにくい ・違法駐車は迷惑、減らしたい など

整備の必要性

(1)歩道が広くなること

- ①車イス利用者、ベビーカー、杖をついた視覚障がい者や高齢者など誰でも歩きやすく、また、すれ違いやすくなります。
- ②お店選びや待ち合わせの際に歩道上で気兼ねなく立ち止まれるなど、快適に歩道を利用できます。
- ③街路樹を植栽してもゆとりのある空間が確保できます。街路樹は緑陰をつくることで快適性を向上し、良好な沿道景観を創出します。

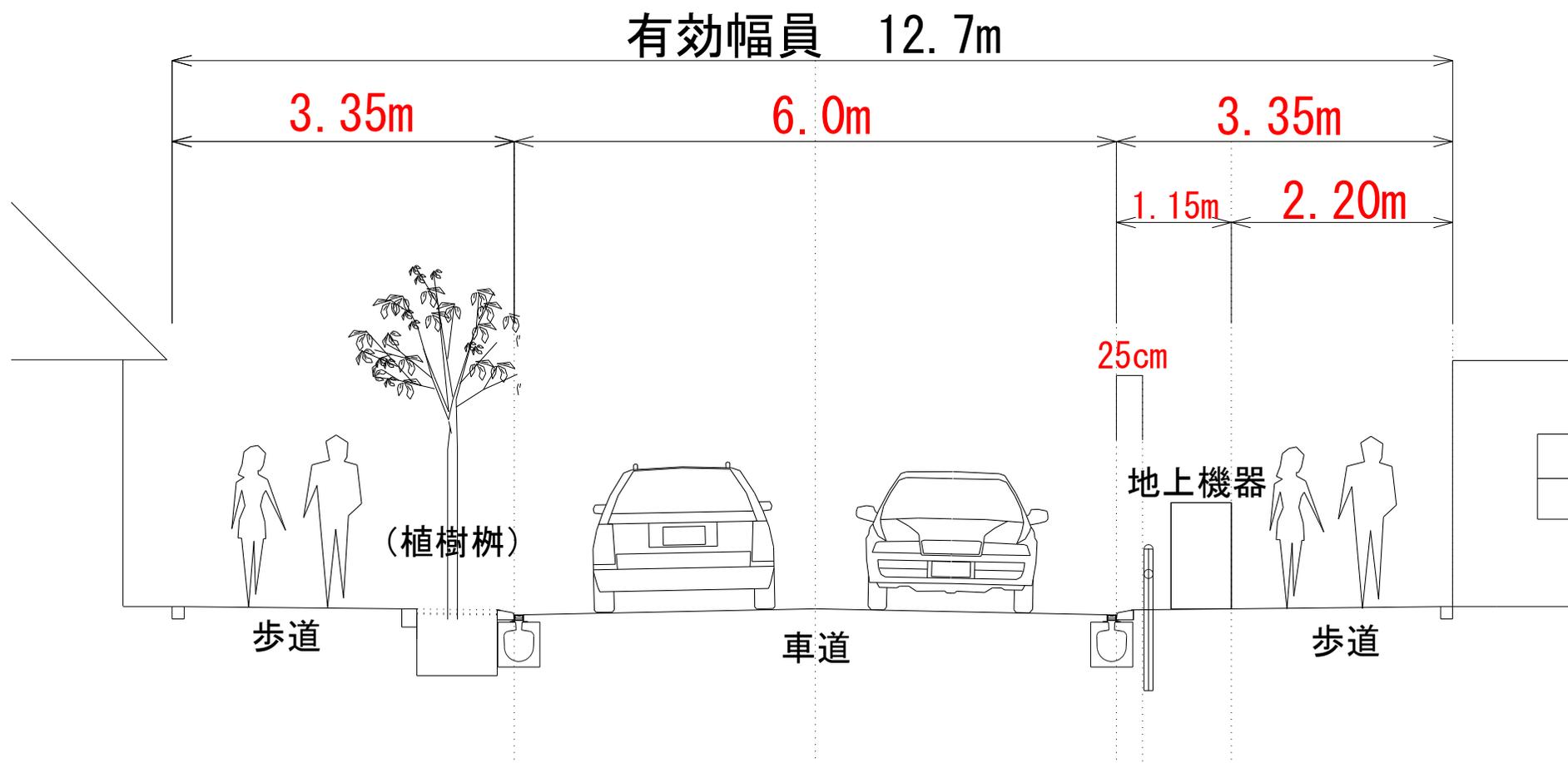
(2)車道が狭くなること

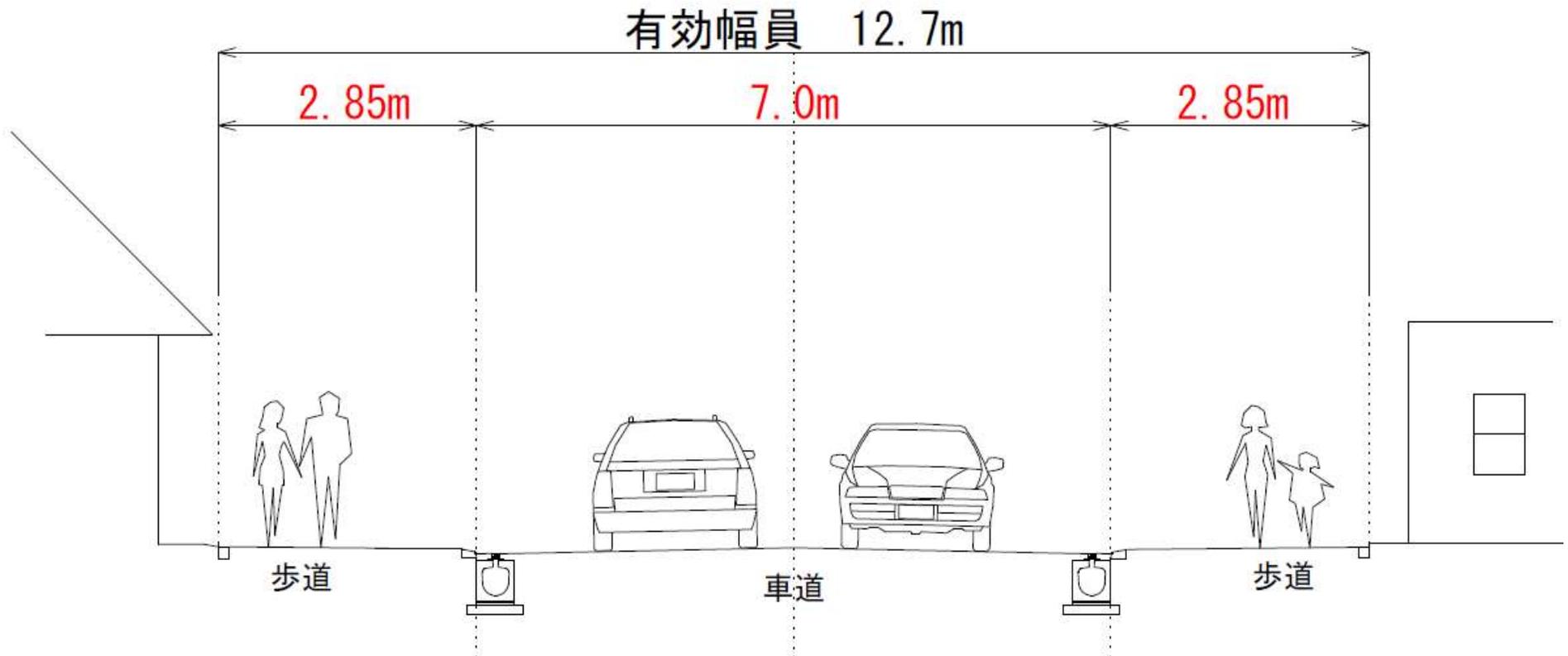
- ①車道が狭くなるとドライバーは対向車をより意識することになり、車の速度が抑制されるといった効果があります。
- ②迷惑駐車を減らす効果が期待できます。

幅員構成について

※歩道有効幅員 2 m以上確保
(道路構造令)

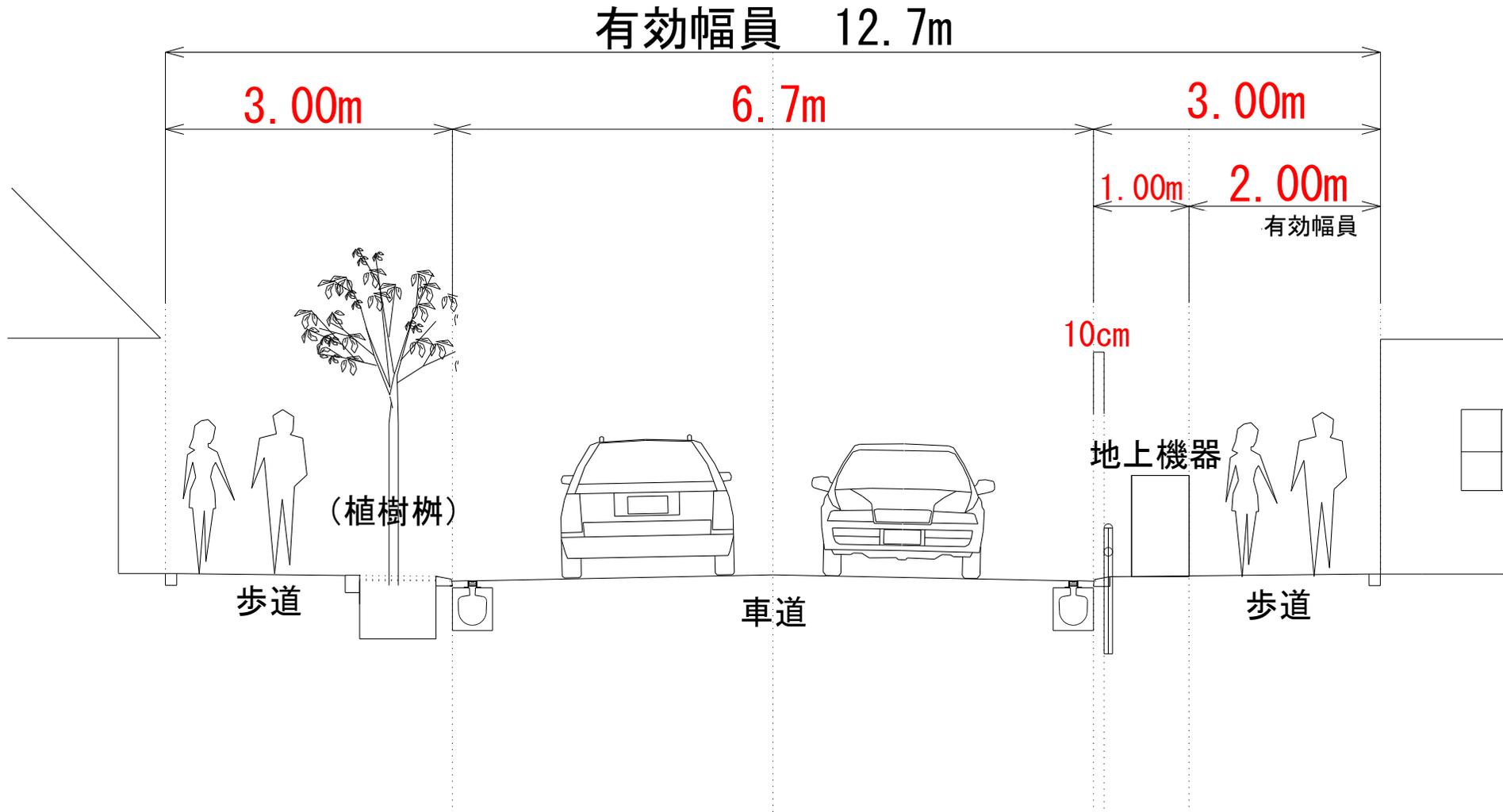
①当初計画案(車道幅員を6.0m)



②久茂地3丁目大通り会からの要望(車道幅員を7.0m)

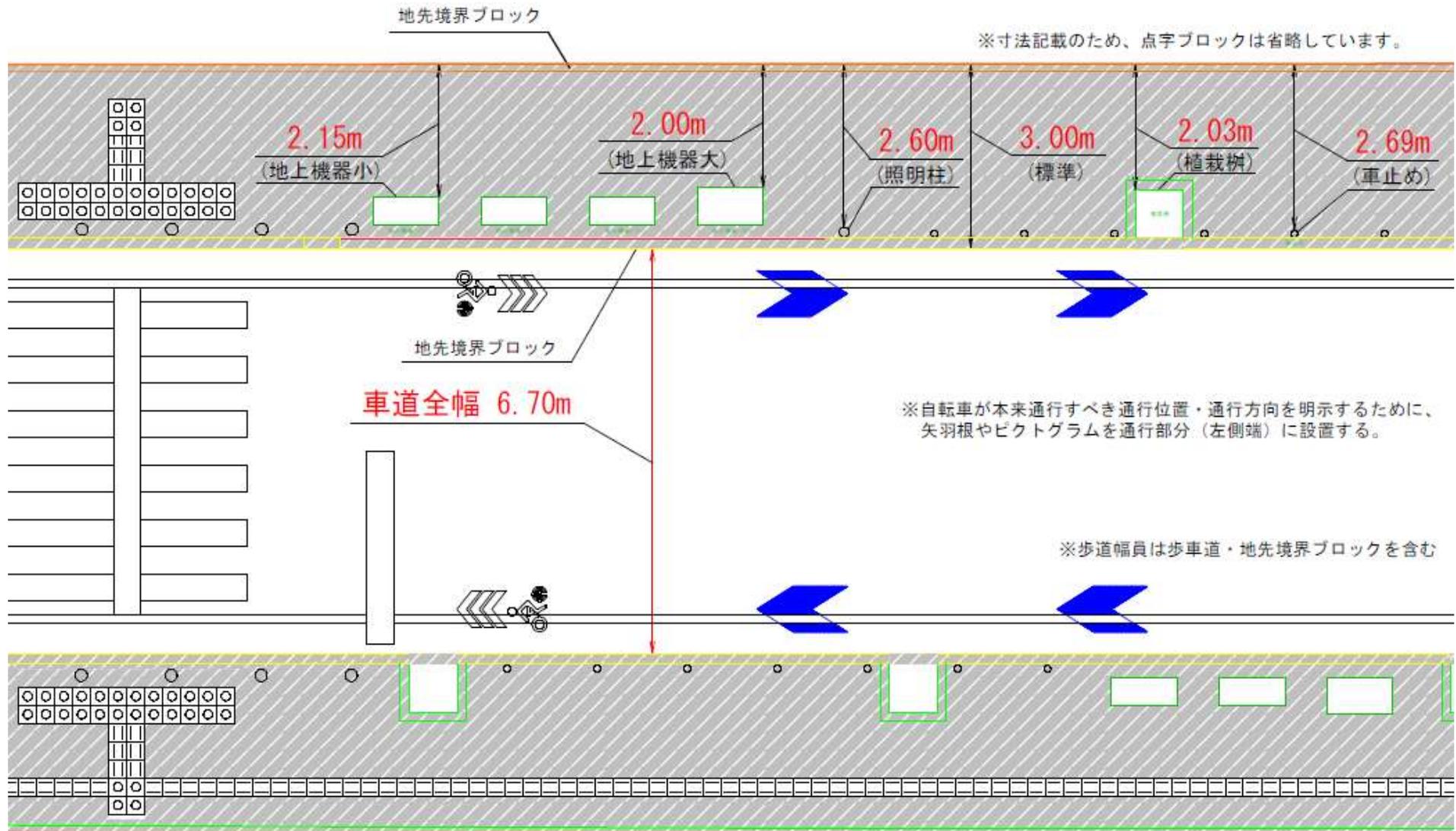
※歩道有効幅員 2 m以上確保 5
(道路構造令)

③ 打開案 (車道幅員を 6.7m)



(参考) 車道幅員6.7mの場合の道路詳細図

※自転車の通行については、車道混在型で整備します



まちづくりに関する上位計画について

第5次 那覇市総合計画

学識経験者や各種団体、多くの市民の方々のご意見を踏まえて策定。

(抜粋)

施策48 誰もが移動しやすいまちをつくる

施策概要 ◎ 那覇市の抱える交通課題の解消・交通の質向上に向けて、「那覇の自然・文化が息づく交通まちづくり～人中心のまちづくりをめざして～」を基本理念とし、過度にクルマに頼りすぎず、公共交通や徒歩・自転車などで、まちのどこへでも快適に移動できるまちを目指します。

施策51 安全安心で快適な都市空間の確保されたまちをつくる

施策概要 ◎ 「人中心のまちづくり」を基本理念として、交通渋滞の緩和とともに歩行空間等を確保し、地域内交通の利便性及び歩行者にも、安全安心で快適な道路整備を目指します。

まちづくりに関する上位計画について

那覇市 都市計画マスタープラン

那覇中央地域

■誰もが移動しやすい公共交通ネットワークの体系方針（抜粋）

国際通りトランジェットモールの拡充や、歩行者優先ゾーンの設定などを実施し、中心部への通過交通を抑制することにより、歩行者の安全性、快適性、利便性を重視した交通環境の形成を図ります。

■路線ごとの道路体系方針（抜粋）

- ・泉崎楚辺西線
- ・[久茂地9号](#)
- ・久茂地前島線

泉崎、久茂地一帯の主要な生活道路となっており、[歩行者優先道路](#)として位置づけ、[地域の特色を活かした魅力ある道路整備](#)を図ります。

那覇市 バリアフリー基本構想

